

- ・ CPUE (10月) は、2017・2013年級に次いで高い
- ・ 計量魚探調査で観察された魚群数 (10月) は、前年を上回る
- ・ トロール調査では、0歳に加えて1歳以上も同程度漁獲された

稚内水試では、毎年10月と11月の2回、稚内ノース場海域(図1)において、試験調査船北洋丸による計量魚群探知機調査と着底トロール調査(原則6回曳網)を実施しています。

本速報では、2021年10月5~7日に実施した第1回調査の結果を示します。

計量魚探調査およびトロール調査結果

- ・ 魚探調査で観察された魚群数は12で発見位置は海区812~813に偏りがありました(図1)(図2)。
- ・ 0歳魚CPUEは19.7kg/nmi.で、近年では2017・2013年級に次ぐ高い値でした(表1)。
- ・ トロール調査では、0歳(239mm以下)に加え1歳以上(240mm以上)も漁獲されました(図3)。

表1. 0歳魚CPUE (曳網1マイルあたり採集量kg/nmi.) ※2021年は暫定値

調査年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
kg/nmi.	75.0	0.7	5.1	0	155.7	3.6	3.5	2.1	19.7

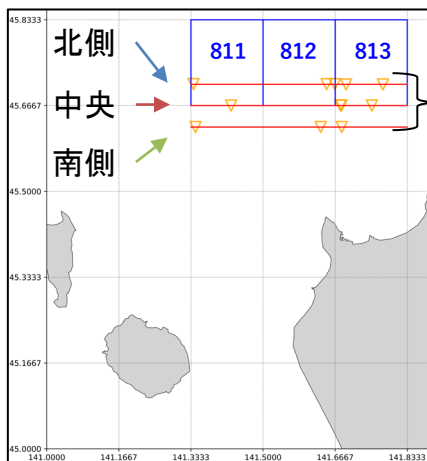


図1. 操業海域と調査ライン
(▽: 魚群発見位置)

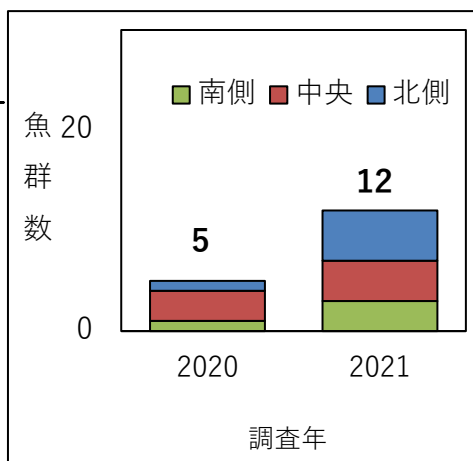


図2. 発見された魚群の合計

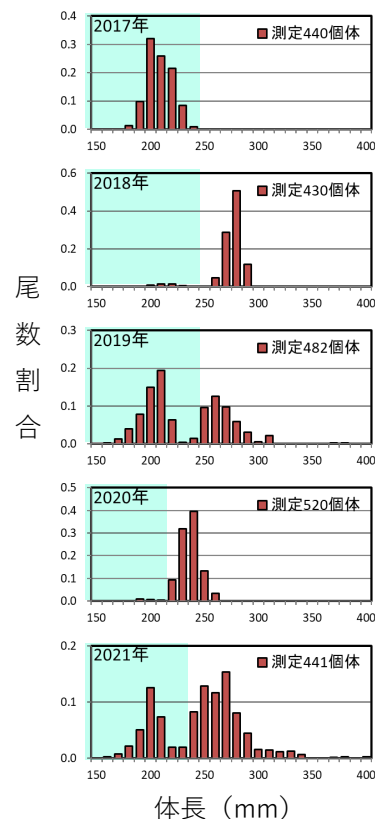


図3. 採集されたホッケの体長組成
(水色部分は0歳魚を示す)

調査結果

10月調査では、0歳魚CPUEおよび魚群数は前年を上回りました。ただし、いずれも過去年に比べて突出して高いとはいえず、本結果をもって2021年級が高豊度であると結論することは出来ません。

2021年級の資源豊度については、次回(11月)の調査の結果も踏まえて注視していく必要があります。